

本日、防衛省が正式に発足した。祝意を表したい。防衛行政にとっては一大エポックである。今後名実共に日本の安全を担える官庁に育って欲しい。そして、最終的には、憲法改正を含む自衛隊、自衛官に対する名誉ある地位の付与を願わずには折れない。



(浅間山に向けたゲレンデ)

さて、孫娘がスキーを教えるに欲しいと言う。北海道通算8年のキャリアを発揮する絶好の機会である。孫と二人して2泊3日のスキー合宿を長野県佐久で行うこととした。新幹線駅に近いホテルに宿泊して、無料シャトルバスでスキー場往復、スキーセットはレンタルである。夜は温泉堪能の積りでその様な。

当初予定した年末は雪が少ないためキャンセルし、年明け直後の3連休に延期しての決行である。

初日は、生憎の曇（みぞれ）になり、二日目には、吹雪いた。さるゲレンデではゴンドラが運行停止となり下山出来ぬスキー客が居たり、ある山で遭難したりと大荒れであった。3日目やっと快晴、浅間山を初めて眺めることが出来た。曇にも吹雪きもめげずにスキー訓練に励んだお陰で、概ね所期の目的を達することが出来た。

然しながら、身内とは言え、子供を預かっての訓練にはそれなりの気苦労が付き物である。

#### 1 お祖父ちゃん株、更に上昇！

スキーは全く初めての子供に文字通り手取り足取り、マンツーマンで丸々二日教えたけれども、子供は羞恥心がなく怖いもの知らず（最も孫娘の場合はそうでもなかったが・・・）であるので上達は結構早いものである。最終的にはある程度の直滑降とプルークボーゲンよる小生とのトレインが出来るようになった。

孫にせがまれて急斜面を格好良く急滑降して拍手喝采であり、この3日間でお祖父ちゃんの株は更に急上昇した（？）。

小生がスキーらしいスキーをしたのはこの一回限りであり、そういう意味では消化不良・欲求不満ではあるが、これも可愛い孫のためであり文句を言うべきではなからう。



## 2 初心者教育の困難性痛感

歩く、起き上がる、斜面を登る、方向変換をする、スキーを「ハ」の字形に揃える等々教えるべき事項は多々ある。滑る時のポイントは、何に注意すべきか、彼女はそれらをどう理解し、どのように実行しているか、回転はどうするそのポイントはこうだ、果たして何処まで理解しているのか皆目検討もつかない。それでも初日の半日、最後にはペアリフトで終点まで、彼女を抱き抱えての滑走、翌日は、昨日の復習後にリフト、丸抱えから肩掴み滑走、緩斜面では離して左右回転の訓練、最後の滑走では彼女一人で滑らせた。辛うじて転ぶことなく滑走成功。最終日の半日、昼食も抜きで20回余りも滑走。

どうやら、一人で滑れるようになったが、それでもつい体重移動を逆にしたり、スピードに負けてへっぴり腰になったりとなかなかマスターとはいかぬ。それでもスキーの楽しさは十分に解ってくれた様だ。

## 3 佐久パラダに付いて

首都圏から新幹線で一時間程度、高速道路から ETC 装着車は進出入可能なスキーであるとのことで長野県下で唯一黒字経営のスキー場らしい。雪は多くないとのことで90%は降雪機による人工雪であり、降雪量は少ないので、ノーマルタイヤのお客も結構多いとのシャトルバス運転手の話。新幹線駅やホテルからの無料シャトルバスの運行、ホテルとの提携等による低料金化等もあり、スキー客はそれなりに多い模様である。

浅間山に向かって滑る形でゲレンデが配されており、天気の良い日には絶景だ。ニセコから羊蹄山を臨む形にそっくりだ。

## 4 母親の苦勞に思いを致す。

小学校4年生とは言え、全てを自分の判断出来るわけではない。24時間、考えさせ確認し、見てやらねばうまく捗らない。余り手の掛からない子供ではあるが、それでも慣れぬ事として大変だ。四六時中面倒見る母親と言うのは大変なのだろうと思わずには折れない。役割分担しようにもそれが出来ないのだから。

## 5 次は！

長女のみで済ます訳にも行かない。下の孫が連れて行って貰えなかったとのことで、拗ねているのは明々白々である。何れ機会を見て連れて行かざばなるまい。状況によっては、息子の子供まで。何時までスキー出来るのだろう。